

## 認知症施策総合推進事業の取組状況について

### 1 概要

本区の認知症施策については、これまでの事業をさらに推進させるために、平成27年度に検討専門部会を設置し、認知症ケアパスを作成したところである。

施策の推進にあたっては、認知症ケアパスに掲げている「認知症になっても人として尊重され、希望を持って自分らしく生きることができる文京区」の実現に向けて、4つの方針（(1)普及啓発の推進、(2)切れ目ない支援体制作り、(3)地域での日常生活支援の充実、(4)家族支援の強化）に基づいて取り組んでいく。

### 2 取組状況（過去3か年）

#### (1) 普及啓発の推進

認知症の本人の視点に立って正しい知識を修得し理解を深めるための普及啓発を推進する。

事業名	認知症講演会			
事業内容	日常生活圏域ごとの地域において認知症の正しい知識と理解を得るための講演会を開催する。			
実績	項目	27年度	28年度	29年度
	開催回数	9回	8回	8回
	参加者数	182名	109名	178名

事業名	認知症サポーター養成講座			
事業内容	正しい理解と知識を持って認知症の本人や家族を見守ることのできるサポーターを地域や学校、職域で養成する。また、サポーターとして行動することを後押しするためのフォローアップ講座も開催する。			
実績	項目	27年度	28年度	29年度
	サポーター養成数	2,530人	1,343人	1,645人

事業名	認知症パンフレット等による啓発		
事業内容	認知症による生活機能障害に応じて適時適切な支援につながるができるよう様々な情報を掲載し周知を実施する。		
実績	パンフレット等の名称	発行目的	
	知っておきたい！認知症あんしん生活ガイド	認知症ケアパスの普及啓発	
	正しく知って向き合う支える認知症	正しい知識・理解の普及啓発（一般向け）	
	認知症って何だろう？	正しい知識・理解の普及啓発（児童向け）	
	もの忘れ医療相談 そのもやもや相談してみよう！	早期発見・早期診断の促進	
	若年性認知症ライフサポート BOOK	若年性認知症の人に対する支援	
ケアラー手帳	介護者に対する支援		

事業名	認 PAKU～認知症に寄り添う介護機器展～			
事業内容	介護が必要な状況になった時に役立つ、生活機能障害の軽減を目的とした機器を展示する。			
実績	項目	27年度	28年度	29年度
	参加者数	343人	396人	380人

## (2) 切れ目ない支援体制作り

早期診断・早期対応を軸とする循環型のしくみを構築することで、本人主体の医療・介護が有機的に連携し、認知症の状態に応じて適時適切に切れ目なくその人にふさわしい場所で支援が提供される仕組みをつくる。

事業名	認知症相談機能の強化			
事業内容	各高齢者あんしん相談センターに看護師や保健師の資格を持つ認知症支援コーディネーターを配置し認知症支援体制を充実する。			
実績	項目	27年度	28年度	29年度
	相談件数	293件	592件	738件

事業名	もの忘れ医療相談			
事業内容	区内医師会に所属する認知症サポート医を嘱託医として各日常生活圏域に配置し、面談や訪問で相談に応じる。			
実績	項目	27年度	28年度	29年度
	相談件数	45件	36件	43件

事業名	認知症初期集中支援事業 ※平成29年10月開始			
事業内容	複数の専門職により構成する認知症初期集中支援チームを設置し、本人や家族に対する支援を包括的・集中的に行い在宅生活をサポートする。			
実績	項目	27年度	28年度	29年度
	対応事例数	—	—	12件

事業名	認知症施策検討専門部会			
事業内容	医療・介護等の専門職や地域の関係者が連携し、区における認知症の状態に応じた適切な支援体制の構築を図ることを目的として認知症施策総合推進事業全般について検討する。なお、30年度からは名称を認知症施策検討専門部会に変更した。			
実績	項目	27年度	28年度	29年度
	開催数	5回	2回	2回

### (3) 地域での日常生活支援の充実

生活の支援、生活しやすい環境の整備、社会参加支援及び安全確保の観点から、認知症の本人を含む高齢者にやさしい地域づくりを推進する。

事業名	認知症家族交流会／介護者教室／認知症カフェ（ぶんにご）			
事業内容	認知症の本人を介護している家族への支援として情報交換の場の提供や、介護に役立つ講座の開催、認知症の有無に関わらず誰もが集えるコミュニティの場を設ける。			
実績	項目	27年度	28年度	29年度
	家族交流会開催数	8回	8回	8回
	介護者教室開催数	9回	8回	8回
	認知症カフェ開催数	20回	22回	50回

事業名	SOS メール事前登録事業／ただいま！支援 SOS メール配信			
事業内容	申請に基づき認知症の本人の情報を登録し、区、警察署及び高齢者あんしん相談センターで情報共有する。また、「ただいま！支援登録」による登録者が行方不明となった際は、あらかじめ登録した地域の協力事業者・協力サポーターへの電子メールを一斉配信し、可能な範囲で捜索の協力を依頼する。			
実績	項目	27年度	28年度	29年度
	SOS メール事前登録者数	38人	73人	90人
	協力者数	434者	545者	603者
	メール配信数	6件	10件	5件

事業名	うちに帰ろう！模擬訓練			
事業内容	認知症の本人に対する地域の対応力の向上・見まもり機能の強化を目的とし、行方不明認知症高齢者の発生から保護までの流れを町会単位で模擬訓練する。			
実績	項目	27年度	28年度	29年度
	協力町会数	2町会	7町会	2町会
	参加者数	94人	106人	71人

事業名	生活環境維持事業			
事業内容	認知症高齢者等のうち、自己で生活環境の整備を行う事が困難な方に対し、廃棄物処理等のサービスを実施し、生活環境の維持保全を図る。			
実績	項目	27年度	28年度	29年度
	利用者数	0件	0件	1件

#### (4) 家族支援の強化

介護する家族の心身の負担を軽減するため、在宅での介護に関する情報提供や家族介護者同士の交流及び情報交換の場の提供等を行う。

事業名	ステッカー及びアイロンシールの配付			
事業内容	行方不明となった認知症高齢者等の発見時の速やかな身元判明に役立つ靴用反射板ステッカー・衣類用アイロン名札シールを配付する。			
実績	項目	27年度	28年度	29年度
	ステッカー配付数	53人	49人	37人
	名札シール配付数	46人	41人	30人

事業名	徘徊探索サービス			
事業内容	認知症の症状のある要支援又は要介護認定者を対象に、民間事業者が運営する GPS 通信網を使用する位置探索システムの利用に対しての申込費用を助成する。			
実績	項目	27年度	28年度	29年度
	利用登録者数	3人	5人	8人

事業名	【再掲】認知症家族交流会／介護者教室／認知症カフェ（ぶんニコ）
-----	---------------------------------

事業名	【再掲】SOS メール事前登録事業／ただいま！支援 SOS メール配信
-----	-------------------------------------

事業名	【再掲】うちに帰ろう！模擬訓練
-----	-----------------

### 3 今後の取組と方向性

#### (1) 事業の周知

認知症への理解を深めていくためには、関連する知識の普及・啓発が重要であることから、認知症ケアパスについて、病院等の医療関係機関だけでなく、区内全域に広がるよう、積極的に地域に出向き説明するなど周知の強化に努めていく。

#### (2) 見守り体制の強化

認知症の本人や家族を支えていくため、ハートフルネットワーク事業や SOS 配信メール事業などを通じて、地域におけるネットワークづくりの推進や関係機関の連携強化を図り、地域における見守り体制の構築に取り組んでいく。

#### (3) 若年性認知症への取組

若年性認知症の方については、就労や生活費等の経済的な問題が大きいなどの特徴があることから、その支援に当たっては、専門機関や関係者と協議を重ね、様々な社会資源を連動させ、それらを有機的に活用できるよう組み立て、支援体制を構築していく。